【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公表番号】特表2003-505244(P2003-505244A)
【公表日】平成15年2月12日(2003.2.12)
【出願番号】特願2001-513536(P2001-513536)
【国際特許分類】
Ｂ０９Ｂ　3/00　(2006.01)
Ｂ０７Ｂ　7/08　(2006.01)
Ｃ１０Ｊ　3/00　(2006.01)
Ｆ２６Ｂ　3/08　(2006.01)
Ｆ２６Ｂ　17/10　(2006.01)
Ｂ０９Ｂ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０９Ｂ　3/00　３０２Ｚ
Ｂ０７Ｂ　7/08
Ｃ１０Ｊ　3/00　Ｇ
Ｆ２６Ｂ　3/08
Ｆ２６Ｂ　17/10　Ｂ
Ｂ０９Ｂ　3/00　ＺＡＢ
Ｂ０９Ｂ　3/00　３０３Ｌ
Ｂ０９Ｂ　3/00　３０３Ｚ
Ｂ０９Ｂ　5/00　Ｎ
Ｂ０９Ｂ　5/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年8月1日(2007.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】　廃棄物のガス抜き及び／又はガス化プロセスからの廃物を乾燥、分離、分級及び粉砕する方法において、固体の廃物を上から又は廃ガスと一緒にシャフト状の室に装入しかつこのシャフト状の室のホッパー状の下方部分内で完全に又は部分的に堆積させ、かつ同時に及び／又は引き続き空気及び廃ガスをガス抜き及び／又はガス化プロセスから分離して下から加圧して室内に導入し、その際空気を実質的に軸方向でかつ廃ガスを実質的に接線方向で前記室内に導入し、それにより室内で固体及びガス状物質の回転対称の噴き上げる渦流を起こし、かつ、引き続き又は連続的プロセス中に乾燥、分離、分級され及び実質的に粉砕された生成物を下に向かって室から排出することを特徴とする、廃物を乾燥、分離、分級及び粉砕する方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】　室の円錐台形の底部内の空気を排出シャフトの円形の二重壁部分を通して軸方向で導入する請求項１記載の方法。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】　空気が予熱されている及び／又は空気を６～８ｋＰａの圧力で室内に導入する請求項１記載の方法。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項８】　室の円錐台形の底部の領域内で１又は２つの内外にある円錐台形の組込み部材が１又は２つの互いに及び室底部に対して調節可能な環状間隙を形成し、その際一方の環状間隙を通して空気を軸方向でかつ他方の環状間隙を通して廃ガスを接線方向又は半径方向で導入する請求項１記載の方法。